

決算

一般会計から見る町の財政状況

私たちの生活に密接に関わっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

歳入は約82億3千万円

歳入は、皆さんが納める町税、地方交付税、国庫支出金や県支出金、町が事業をするために借り入れる町債などが主なものです。

元年度の歳入総額は、82億3,927万4千円で、前年度より2億1,378万2千円増加しました。

歳入全体では、町税、負担金や使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合は32・4%で、前年度より4・1ポイント減少しています。減少した主な要因は、町税や財産収入の減少によるものです。

町税は、固定資産税などの減少により、町税全体で2・8%、金額にして5,232万円の減収になりました。

歳出は約78億9千万円

元年度の歳出総額は、78億9,136万4千円で、前年度より1億7,655万1千円増加しました。

増加した主な要因は、平成30年度からの繰り越し事業である強い農業づくり交付金事業、小学校空調設備整備事業によるものです。

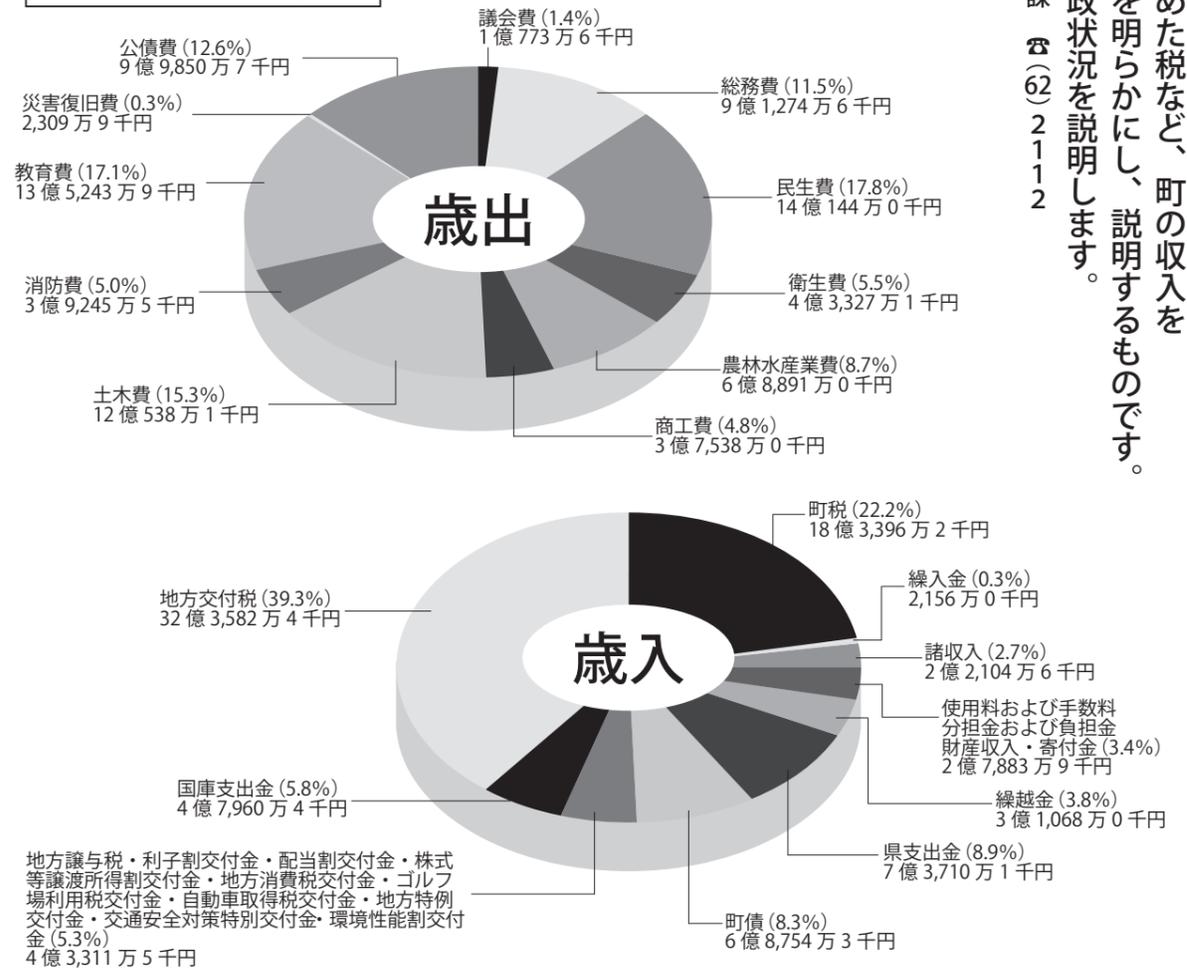
この他、元年度の主な事業として、都市計画道路整備事業、統合中学校整備事業、台風19号に係る災害復旧事業などを行いました。

また、統合中学校整備事業の財源として、1億5,141万6千円を教育施設整備等基金に積み立てました。

このほど町の令和元年度の決算がまとまり、9月に開かれた町議会定例会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入をどのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

【問い合わせ先】企画財務課 ☎(02)2112

一般会計内訳



令和元年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

単位：千円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳入		歳出		30年度	
				30年度との比較	増減率	30年度との比較	増減率	歳入	歳出
一般会計	8,239,274	7,891,364	347,910	213,782	2.7%	176,551	2.3%	8,025,492	7,714,813
特別会計	20,544	20,428	116	△1,835	△8.2%	△1,666	△7.5%	22,379	22,094
一般会計	6,199	5,971	228	△4,381	△41.4%	△3,790	△38.8%	10,580	9,761
特別会計	16,537	16,320	217	2,126	14.8%	2,222	15.8%	14,411	14,098
一般会計	13,023	12,724	299	2,901	28.7%	2,957	30.3%	10,122	9,767
特別会計	1,580,989	1,562,160	18,829	45,499	3.0%	48,648	3.2%	1,535,490	1,513,512
一般会計	545,079	539,455	5,624	74,784	15.9%	78,334	17.0%	470,295	461,121
特別会計	126,226	123,895	2,331	788	0.6%	1,278	1.0%	125,438	122,617
一般会計	158,802	154,968	3,834	5,468	3.6%	4,593	3.1%	153,334	150,375
特別会計	1,827,628	1,771,385	56,243	23,561	1.3%	14,475	0.8%	1,804,067	1,756,910
一般会計	177,739	177,526	213	△986	△0.6%	49	0.0%	178,725	177,477
特別会計	4,472,766	4,384,832	87,934	147,925	3.4%	147,100	3.5%	4,324,841	4,237,732
一般会計 + 特別会計 合計	12,712,040	12,276,196	435,844	361,707	2.9%	323,651	2.7%	12,350,333	11,952,545

水道事業会計決算

()内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	359,333 (△3.11%)	資本的収入	35,556 (60.25%)
収益的支出	314,619 (△2.36%)	資本的支出	192,410 (13.50%)

*資本的収支の不足額1億5,685万4千円は、内部留保資金などから補てんしました。

病院事業会計決算

()内は前年度比率 単位：千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	83,728 (14.1%)	資本的収入	16,524 (△70.2%)
収益的支出	83,768 (14.0%)	資本的支出	16,524 (△71.4%)

町の財政指標から見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

実質公債費比率は10・7%

実質公債費比率は、町税や地方交付税などの歳入のうち、何かが借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。早期健全化基準は25・0%です。町の実質公債費比率は、基準を下回る10・7%で、前年度の10・3%より

将来負担比率は54・0%

将来負担比率は、一般会計などの標準的な年間収入に対し、将来支払うべき実質的な借金の額がどのくらいあるかを示す割合です。早期健全化基準は350・0%です。町の将来負担比率は、基準を下回る54・0%で、昨年度の58・9%より4・9ポイント下がりました。また、元年度末の町の借金の残高は、85億4,383万5千円です。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

町税の負担

町民の皆さんが元年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり129,112円1世帯当たり335,853円となりました（国民健康保険税を除く）。

1人当たり町税負担の内訳

町民税	43,280円
固定資産税	71,888円
軽自動車税	3,464円
町たばこ税	8,038円
入湯税	2,442円
国民健康保険税	95,781円

※町税負担の内訳は、2年3月31日現在の住民基本台帳人口13,810人、世帯数5,309世帯、国民健康保険税は3,268人で計算しています。